

稲作だより 第1号

令和7年7月10日 発行
福岡市農業指導センター

北部九州の梅雨入りは平年より4日遅い6/8頃、梅雨明けは観測史上最も早く、平年より22日早い6/22頃となりました。6月の降水量は平年に比べ約1割超で田植え作業は、概ね順調に進みました。今後も高温が続く予報です、灌水かけ流しなど田んぼを冷やす工夫を実践しましょう。今回は、出穂期までの管理についてお知らせします。

1. 気象及び生育概況

- ・気象概況 7月に入り平年に比べ高温少雨の状況が続いてます。
- ・早期水稻 概ね生育順調で7月下旬に出穂期を迎えます。
- ・普通期水稻 概ね生育順調ですが、一部でジャンボタニシによる食害がみられます。



	6月1～30日（観測地点：前原）				
	平均気温（℃）	最高気温（℃）	最低気温（℃）	降水量（mm）	日照時間（h）
令和7年	24.4	29.0	20.5	243.5	151.4
平年値	23.2	27.5	19.6	220.9	156.4
平年差	+1.2	+1.5	+0.9	+22.6	-5.0

2. 出穂期予測と穂肥時期

出穂期とは、圃場全体の4～5割の穂が出た日です。高温の影響から昨年に比べ数日早まる予測です。穂肥は出穂期の概ね20日前に行いましょう。

1) 元肥一発型肥料（LP444など）

基本的に穂肥は不要ですが、近年は高温の影響で肥料の溶出が早まる傾向があります。葉色が薄い場合は、グリーンセンターにご相談ください。

2) 慣行肥料（赤とんぼの里など）

下表を目安にして、出穂期予測と稲の姿から穂肥時期を判断しましょう。

- 葉色は畔草と同じ位の色の濃さが基準です。
- 幼穂長2～5mm位の頃が化成肥料の施用時期です。
- いもち病の発生、葉色が濃い場合（葉色板4以上）などは、穂肥を遅らせましょう。

		恵つくし	夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ	実りつくし	ヒヨクモチ	笑みたわわ
田植え日		6/1	6/1	6/10	6/10	6/20	6/20	6/20
		6/10	6/10	6/20	6/20			
出穂期予測		8/3頃	8/2頃	8/12頃	8/22頃	8/30頃	9/2頃	8/22頃
		8/8頃	8/7頃	8/17頃	8/25頃			
穂肥時期	NK2号 赤とんぼの里	7/14頃	7/13頃	7/25頃	8/3頃	8/9頃	8/13頃	8/3頃
		7/19頃	7/18頃	7/30頃	8/6頃			
	有機質肥料 (油かす等)	7/7頃	7/6頃	7/19頃	7/28頃	8/2頃	8/6頃	7/28頃
		7/12頃	7/11頃	7/24頃	7/31頃			

3. 水管理

1) 中干し

- ①中干しの目的は、過剰分げつを抑え、土壌に酸素を送り根を健全化することです。また、土が締まることで倒伏を防止し、病害虫の抑制効果が期待出来ます。
- ②中干し開始時期は、株の茎数が坪 50 株植えて 22 本程度、坪 60 株植えて 18 本程度に分げつした頃から（概ね田植え 40 日後くらい）です。少ない場合は、茎数を確保してから開始してください。
- ③田面の乾燥度合いは、足跡がつく程度です。乾き過ぎは根を傷め生育を阻害します。
- ④中干し後の最初の水入れは、走り水程度とし、以降は間断かん水を行います。中干しが出来なかった圃場は、落水期間を長くした間断かん水を行いましょう。

2) 出穂前後

最も水が必要な時期です。出穂前後 1 週間は湛水状態を保ちましょう。

3) 台風対策

脱水・倒伏を防ぐため可能な限り深水管理を行い、台風通過 2～3 日後に水を入れ替え、間断かん水を行いましょう。

【溝切について】

溝切は中干し・間断かん水の効果を高める生産技術です。乗用溝切り機の貸出しを行っていますので、ご利用希望の方は、最寄のグリーンセンターにお申し出ください。

●料金 1,100 円（税込）／1 日

●貸出・返却場所 早良・西グリーンセンター



4. 中期除草剤

水田雑草の発生状況に応じて使用を検討しましょう。

対象雑草	除草剤名	使用時期		使用量/10a
ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤	移植後7日～ℓⅠ4葉期	収穫30日前まで	1kg
		移植後25日～ℓⅠ5葉期	収穫30日前まで	1.5kg
	クリンチャージャンボ	移植後7日～ℓⅠ4葉期	収穫40日前まで	20ℓ㍲
		移植後25日～ℓⅠ5葉期	収穫40日前まで	30ℓ㍲
	トドメMF乳剤	移植後14日～ℓⅠ7葉期	収穫50日前まで	200ml
広葉 カヤツリグサ	バサグラン粒剤	移植後15日～55日	収穫60日前まで	3～4kg
ヒエ・広葉 カヤツリグサ	ウィードコア1キロ粒剤	移植後7日～ℓⅠ4葉期	収穫60日前まで	1kg
	クリンチャーバスME液剤	移植後15日～ℓⅠ5葉期	収穫50日前まで	1000ml

※赤とんぼ栽培では中期除草剤は使用出来ません

※ウィードコア1キロ粒剤は、飼料用米「笑みたわわ」には薬害が生じるため使用禁止

5. 病害虫の発生状況と対策

1) トビイロウンカ（秋ウンカ）

平年並みの飛来頭数です。今後の天候次第で急増する可能性もあります。注意深く観察して、今後の発生情報を確認してください。

令和2年は、7月上旬のトビイロウンカの発生は平年並みでしたが、収穫期直前に大発生し大きな被害をもたらしました。要注意です！



【トビイロウンカ】



2) セジロウンカ

平年に比べやや多い飛来が確認されていますが、昔から田んぼの肥しになると言われるほど、ほとんど影響はありません。

【セジロウンカ】



3) イネカメムシ

近年、福岡県下で被害が拡大しているカメムシの一種で、本年も福岡市近隣で発生が確認されています。主に出穂期～穂揃い期に籾の基部を吸汁することから不稔の原因となり、大量発生すると大きな被害をもたらす恐れがあります。注意深く観察して、今後の発生情報を確認してください。

【イネカメムシ】



4) 斑点米カメムシ

出穂10日前までは、こまめな草刈を行いましょう。刈取った草が水路に落ちないように注意してください。

【斑点米カメムシ】



5) コブノメイガ

食害は見受けられますが、収量への影響は殆どないことから、防除は不要です。

【コブノメイガ】



6) いもち病

現在の発生状況は「平年並み～やや少ない」なっています。

- 穂肥時期に発生を確認した場合、穂肥を中止するか、施肥量を減らしてください。
- 上位葉に発生がある場合は「穂いもち」に進行する恐れがあります。注意が必要です。

【葉いもち病】



稲の生育・病害虫発生状況は圃場毎に異なります。十分に観察して状態を把握しましょう。また、畔草は草丈がヒザより伸びないように管理してください。今後の管理については、引き続き「稲作だより2号」等でお知らせします。

稲作農家の皆様へ



令和7年産 米出荷のお願い

当JAでは、稲作農家の皆様から出荷して頂いた米を『プライベートブランド米』として定期購入のお客様へ、直売所では『今摺り米』として販売しています。

当年産の米は、是非とも当JAに出荷をお願いします。出荷要件を満たした米は、「買取り」を行い約1週間で米代金をお支払いします。出荷に関するお問合せは、最寄のグリーンセンターにお尋ねください。

JA福岡市の『プライベートブランド米』

ヒノヒカリ 夢つくし 元気つくし 実りつくし



博多じょうもんさん市場の『今摺り米』



「環境保全型農業直接支払交付金」 に取り組む生産者を募集します

同交付金は、環境保全に効果の高い取組みに対して国が支援する補助事業です。

【交付金の概要】

1. 対象者は、販売農家であること
2. 対象農地は、農業振興地域内の農地
3. 取組み内容と交付金単価



①②は化学肥料・化学農薬の使用が県基準の5割以下であることが前提です。

取組内容	交付単価(10 a)	要件
①レンゲ等の緑肥の作付	5,000 円以内	土壌診断、購入種子の使用、基準播種の順守等
②堆肥の施用	3,600 円以内	土壌診断、C/N比 10 以上の堆肥施用等
③有機農業	14,000 円以内	土壌診断、化学肥料・化学合成農薬を使用しないこと等

4. 申請や取組み内容に関する問合せは、最寄のグリーンセンターにお尋ねください。
5. 申込期日：令和7年8月18日（月）まで